



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 東急株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9005 URL <https://www.tokyu.co.jp/>  
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 堀江 正博  
問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略室 主計グループ (氏名) 大澤 勇紀 (TEL) 03-3477-6168  
連結IR課長  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	728,901	8.7	69,261	89.1	72,696	91.8	50,046	106.4
2023年3月期第3四半期	670,505	2.4	36,632	5.0	37,900	△3.0	24,246	△19.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 65,261百万円(40.4%) 2023年3月期第3四半期 46,467百万円(33.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 82.93	円 銭 —
2023年3月期第3四半期	40.23	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,602,193	807,205	29.4
2023年3月期	2,614,012	779,372	28.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 765,039百万円 2023年3月期 740,621百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2024年3月期	—	7.50	—		
2024年3月期(予想)				10.00	17.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,041,400	11.8	90,000	101.8	93,800	98.0	60,000	130.8	99.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	624,869,876株	2023年3月期	624,869,876株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	25,924,016株	2023年3月期	10,210,452株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	603,481,799株	2023年3月期3Q	602,668,564株

(注) 自己株式に含めている従業員持株会信託口及び役員報酬信託口が保有する当社株式数は以下のとおりであります。

2024年3月期第3四半期 : 961,200株      2023年3月期 : 1,680,500株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

「2024年3月期 第3四半期 決算概況資料」は、本日(2024年2月9日)、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したこと等により、交通事業やホテル・リゾート事業を中心に、利用者数の回復が見られたことに加え、鉄道の運賃改定などにより、営業収益は7,289億1百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は692億6千1百万円（同89.1%増）、経常利益は726億9千6百万円（同91.8%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、持分法投資利益の増加などにより、500億4千6百万円（同106.4%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであり、各セグメントの営業収益は、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含んで記載しております。なお、各セグメントの営業利益をセグメント利益としております。

## ① 交通事業

交通事業では、東急電鉄(株)の輸送人員は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことなどによる外出機会の増加や、2023年3月に開業した東急新横浜線の開業効果などにより、定期・定期外ともに前年を上回り、定期で6.2%増加、定期外で7.3%増加し、全体では6.7%の増加となりました。また、運賃収入は輸送人員の回復に加え、2023年3月18日に実施した運賃改定の効果などにより、定期で17.6%増収、定期外で23.9%増収し、全体では21.4%の増収となりました。

この結果、営業収益は1,594億9千2百万円（同17.4%増）、営業利益は299億5千6百万円（同199.7%増）となりました。

(東急電鉄(株)の鉄軌道業の営業成績)

種別	単位	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
		2022. 4. 1～2022. 12. 31	2023. 4. 1～2023. 12. 31
営業日数	日	275	275
営業キロ程	キロ	104.9	110.7
客車走行キロ	千キロ	111,348	117,511
輸送人員	定期外	千人	332,100
	定期	千人	415,729
	計	千人	747,829
旅客運輸収入	定期外	百万円	54,266
	定期	百万円	35,559
	計	百万円	89,825
運輸雑収	百万円	10,738	11,082
収入合計	百万円	100,563	120,160
一日平均旅客運輸収入	百万円	327	397
乗車効率	%	42.6	43.2

(注) 乗車効率の算出方法 
$$\text{乗車効率} = \frac{\text{輸送人員}}{\text{客車走行キロ}} \times \frac{\text{平均乗車キロ}}{\text{平均定員}} \times 100$$

## ② 不動産事業

不動産事業では、不動産賃貸業が好調に推移したことに加え、ホテルの客室平均単価の改善などにより、営業収益は1,685億4千2百万円（同13.2%増）、営業利益は277億5千9百万円（同28.0%増）となりました。

## ③ 生活サービス事業

生活サービス事業では、(株)東急百貨店において、前年度の本店営業終了に伴い減収となったものの、(株)東急ストアや(株)東急レクリエーション等、他事業での需要回復等により、営業収益は3,846億2千4百万円（同1.6%増）、営業利益は85億3百万円（同19.1%増）となりました。

## ④ ホテル・リゾート事業

ホテル・リゾート事業では、都心エリアのホテルを中心にインバウンド需要の取り込みなどによる、利用者数の回復があり、ホテルの稼働率は76.4%（前年同期比+7.1ポイント）、客室平均単価は21,078円（同+6,287円）となりました。この結果、営業収益は675億1千1百万円（同31.6%増）、営業利益は28億1千4百万円（前年同期は24億1千4百万円の営業損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金や、当社および連結子会社である東急電鉄株の有形固定資産が減少したこと等により、2兆6,021億9千3百万円（前期末比118億1千8百万円減）となりました。

## (負債)

負債は、有利子負債（※）が1兆2,692億9千8百万円（同182億2千1百万円減）となり、1兆7,949億8千7百万円（同396億5千2百万円減）となりました。

## (純資産)

純資産は、自己株式の取得があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、8,072億5百万円（同278億3千3百万円増）となりました。

※ 有利子負債：借入金、社債、コマーシャル・ペーパーの合計

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、第3四半期までの業績等を踏まえ、前回発表時の予想（2023年11月8日公表）から、営業収益10,414億円（前回予想比0.2%増）、営業利益900億円（同5.9%増）、経常利益938億円（同6.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益600億円（同11.1%増）に変更しております。

詳細につきましては、別途開示しております「2024年3月期 第3四半期 決算概況資料」をご参照ください。

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2023年11月8日発表）	百万円 1,039,500	百万円 85,000	百万円 88,000	百万円 54,000	円 銭 89.65
今回修正予想（B）	1,041,400	90,000	93,800	60,000	99.60
増減額（B－A）	1,900	5,000	5,800	6,000	
増減率（％）	0.2	5.9	6.6	11.1	
（参考）前期連結実績 （2023年3月期）	931,293	44,603	47,369	25,995	42.94

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	69,342	41,234
受取手形及び売掛金	160,746	157,665
契約資産	12,566	12,121
商品及び製品	9,140	10,031
分譲土地建物	109,622	128,545
仕掛品	3,113	5,798
原材料及び貯蔵品	8,789	9,010
その他	50,562	54,868
貸倒引当金	△1,584	△922
流動資産合計	422,300	418,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	812,185	855,848
機械装置及び運搬具（純額）	81,853	76,690
土地	723,020	723,115
建設仮勘定	190,205	131,028
その他（純額）	23,429	25,695
有形固定資産合計	1,830,693	1,812,378
無形固定資産		
投資有価証券	226,392	241,950
退職給付に係る資産	10,382	10,689
繰延税金資産	20,071	13,306
その他	65,598	67,390
貸倒引当金	△100	△871
投資その他の資産合計	322,344	332,465
固定資産合計	2,191,712	2,183,841
資産合計	2,614,012	2,602,193

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	100,887	90,845
短期借入金	423,036	419,033
コマーシャル・ペーパー	30,000	10,000
1年内償還予定の社債	25,000	20,000
未払法人税等	5,832	12,150
契約負債	43,148	49,141
引当金	12,300	8,453
前受金	10,159	14,013
その他	118,690	99,701
流動負債合計	769,056	723,340
固定負債		
社債	320,000	360,000
長期借入金	489,483	460,265
引当金	2,520	2,355
退職給付に係る負債	42,760	41,063
長期預り保証金	137,754	137,803
繰延税金負債	15,336	14,685
再評価に係る繰延税金負債	4,881	4,881
その他	47,826	47,455
固定負債合計	1,060,563	1,068,510
特別法上の準備金		
特定都市鉄道整備準備金	5,020	3,137
負債合計	1,834,639	1,794,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	121,724	121,724
資本剰余金	123,329	123,363
利益剰余金	471,348	512,266
自己株式	△17,329	△46,099
株主資本合計	699,074	711,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,698	18,895
繰延ヘッジ損益	1,151	1,108
土地再評価差額金	5,196	5,193
為替換算調整勘定	13,968	23,105
退職給付に係る調整累計額	5,531	5,481
その他の包括利益累計額合計	41,546	53,783
非支配株主持分	38,751	42,166
純資産合計	779,372	807,205
負債純資産合計	2,614,012	2,602,193

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
営業収益	670,505	728,901
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	473,828	494,838
販売費及び一般管理費	160,043	164,801
営業費合計	633,872	659,639
営業利益	36,632	69,261
営業外収益		
受取利息	300	447
受取配当金	840	917
持分法による投資利益	5,543	8,253
その他	4,646	3,329
営業外収益合計	11,330	12,947
営業外費用		
支払利息	6,404	6,370
その他	3,658	3,141
営業外費用合計	10,062	9,512
経常利益	37,900	72,696
特別利益		
固定資産売却益	357	122
工事負担金等受入額	1,760	416
特定都市鉄道整備準備金取崩額	1,882	1,882
投資有価証券売却益	1,188	885
その他	254	526
特別利益合計	5,443	3,833
特別損失		
工事負担金等圧縮額	1,334	361
固定資産除却損	745	1,722
減損損失	136	1,011
特別退職金	2,918	11
その他	1,000	796
特別損失合計	6,136	3,903
税金等調整前四半期純利益	37,207	72,626
法人税等	11,948	21,928
四半期純利益	25,259	50,698
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,013	651
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,246	50,046



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	25,259	50,698
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,132	2,915
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	11,293	7,256
退職給付に係る調整額	718	△94
持分法適用会社に対する持分相当額	7,064	4,486
その他の包括利益合計	21,207	14,563
四半期包括利益	46,467	65,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,452	62,283
非支配株主に係る四半期包括利益	5,014	2,978

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年6月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の立会外買付取引（ToSTNeT-3）により、16,524,300株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が28,770百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が46,099百万円となっております。

（追加情報）

（会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響の考え方）

前連結会計年度の有価証券報告書における（重要な会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

## (セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	交通 事業	不動産 事業	生活 サービス 事業	ホテル・ リゾート 事業			
営業収益							
外部顧客への営業収益	133,156	122,214	367,109	48,023	670,505	—	670,505
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,749	26,735	11,585	3,278	44,348	△44,348	—
計	135,905	148,950	378,695	51,302	714,853	△44,348	670,505
セグメント利益又は損失（△）	9,994	21,685	7,138	△2,414	36,403	229	36,632

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額229百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	交通 事業	不動産 事業	生活 サービス 事業	ホテル・ リゾート 事業			
営業収益							
外部顧客への営業収益	156,577	137,247	372,710	62,365	728,901	—	728,901
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,915	31,294	11,913	5,146	51,269	△51,269	—
計	159,492	168,542	384,624	67,511	780,170	△51,269	728,901
セグメント利益	29,956	27,759	8,503	2,814	69,034	227	69,261

(注) 1. セグメント利益の調整額227百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。